

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2022年3月24日
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 株式会社アドテクニカ
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1982年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 39年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 静岡県静岡市駿河区中田2丁目4-40(〒422-8041)
	事業所数(国内、国外)		必須 国内:4か所	
	主な事業所の所在地		必須 東京都(1か所)、静岡県(1か所)、愛知県(1か所)、大阪府(1か所)	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 クラウドサービス、WEBシステム、スマートフォン向けアプリケーションの開発、販売
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 下村 聡
			代表者写真	選択 企業サイト:会社案内>代表あいさつ <a href="https://www.adtechnica.co.jp/company/message.html">https://www.adtechnica.co.jp/company/message.html</a>
			代表者年齢	選択 47歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 ・システム営業、ASPサービス企画、ソフトウェアパッケージ企画 ・2000年8月 株式会社アドテクニカ入社 ・2015年7月 代表取締役社長 就任
7	役員	役員数	選択 5名	
		役員氏名及び役職名	選択 下村岳雄(代表取締役会長)、下村聡(代表取締役社長)、佐藤由貴(専務取締役)、下村佳子(取締役)、下村久美(取締役)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 26名
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 299,396,007円(第40期 令和2年7月1日~令和3年6月30日)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 -
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 10,000,000円(第40期 令和2年7月1日~令和3年6月30日)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 -
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 -
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 -
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 上場なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	④いずれでもない
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	無
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	—
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	—
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	静岡銀行、静岡信用金庫、しずおか焼津信用金庫
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	一般社団法人 静岡県経営者協会 一般社団法人日本クラウド産業協会 (ASPIC) ユーオス・グループ FUJITSUファミリ会 特定非営利活動法人 ふじのくに情報ネットワーク機構
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	佐藤由貴
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	有: 経営管理戦略本部
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ基本方針、ISMSマニュアル
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	—
	上記の文書類の経営陣による承認の有無		—		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り: 社内ISMS/PMS規程	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り	
- サービス基本特性					
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	安否コール
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2010年1月5日
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		有り: 2016年12月26日 バージョン6.0 2021年7月7日 バージョン7.0
29		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つ中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	サービスの内容・範囲	必須	安否コールは災害時に社員や家族の安否状況をメール、アプリ通知により速やかに確認するためのシステムです。地震情報と連動した自動配信、自動集計、掲示板、手動一斉配信などの機能を提供します。社員の安否情報を短時間で収集することで、災害時の素早い意思決定を可能にし、事業への二次的な被害を最小限に留めることができます。また、日常的なコミュニケーションツールとしてもご活用いただけます。 ID・パスワード・メールアドレス不要(特許取得済み)、家族の安否確認機能、GPSと連動したMAP機能、直感的なUXデザインなどを特徴として、民間企業、病院、大学、自治体、協会組合など幅広い業種業界において多数の導入実績がございます。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		有り: 従業員情報、部署情報とのAPI連携(オービックビジネスコンサルタント) 毎月行う従業員情報の部署変更や退職者の削除などの入力の二度手間をなくし、一元管理によるメンテナンスの効率化と従業員マスタの最適化をワンタッチで実現します。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	無し: ご相談頂いた内容に沿ったカスタマイズを検討
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	1か月
		告知方法		Webサイト、アプリケーション内管理画面の新着情報、メール
33	サービスの変更・終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し: 安否コールは当社の事業方針にて主要事業として位置付けているためサービス終了いたしません。
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		無し
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有 ヘルプデスクサポート 平日10:00~17:00
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	従量部分無し
		固定部分の課金方法		月額費用はご契約モデル・人数に応じて課金いたします。 月額費用については100名ごとに加算となります。
36	サービス料金	初期費用額	必須	ご契約モデルに応じて、初期費用を設定しております。 ミニマム・ミニマム+Editionは80,000円、その他Editionは105,000円となります。 ※システム連携のモデルにて、初期マスタ連携の設定を行う場合は、プロEditionは105,000円、エキスパートEditionは155,000円が別途発生いたします。
		月額利用額		ご契約モデル・人数に応じて、月額費用を設定しております。 ・~50名プラン 月額費用 ¥5,000~ ・100名プラン~ 月額費用 ¥15,000~ ・システム連携 月額費用 ¥30,000~
		最低利用契約期間		1年間
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	無し
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有 ・契約の更新をしない場合、利用期間終了日の2か月前 ・契約期間内での中途解約の場合、解約の1ヶ月前

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	期間: 2021年3月～2022年3月 稼働率: 99.9%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1: 99.5%以上
		サービス停止の事故歴		期間: 2021年3月～2022年3月 事故歴: 1件(サーバ障害)
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	—
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		—
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	複数の拠点へサーバを配備し、負荷分散対策をレスポンス上の問題回避のために採っている。
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	Pマーク、ISMSを取得
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	有り: 利用規約及びWEBサイトにて明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	Webアプリケーションに対して実施
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		3年に1回程度、外部セキュリティ診断会社へ依頼して実施。脆弱性の深刻度に応じて対策を実施。
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	日次
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	7世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	一週間
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSIに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	・ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2019 社会・業界特化系分野 グランプリ ・2020年度グッドデザイン賞
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付されない
49	サービス利用量	利用者数 申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	140,000ユーザ(実ユーザ数)(1,000社)
50	代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	—

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	安否コール
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	安否コールは災害時に社員や家族の安否状況をメール、アプリ通知により速やかに確認するためのシステムです。地震情報と連動した自動配信、自動集計、掲示板、手動一斉配信、家族安否機能などの機能を提供します。また、日常的なコミュニケーションツールとしてもご活用いただけます。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社アドテクニカ(自社開発)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	未使用
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		非公開
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション、サーバ、ネットワーク:5分
			障害時の利用者への通知時間		原則1時間以内
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック: 有り (メール、ダウンロードファイル、外部提供/利用に係るサーバ)パターンファイル更新間隔: 1日以内
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ取得: 利用状況、例外処理、セキュリティ監視関連について有り保存期間: 利用状況について1ヶ月、例外処理、セキュリティ監視関連について1年
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	24時間以内
- ネットワーク					
60		推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負わない
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称: 安否コール, 事業者名称: 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
62	回線 推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Microsoft Windows ( 11 / 10 / 8.1 / 8 ) Mac OS X ( 10.10 / 10.9 / 10.8 / 10.7 ) スマートフォン: iOS (12.0以降) Android (6.0以降) フィーチャーフォン: docomo、au、Softbank、Y!mobile
		利用するブラウザの種類	必須	パソコン: Safari ( 最新 ) Mozilla Firefox ( 最新 ) スマートフォン: Safari ( 最新 ) Chrome ( 最新 )
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有り
64		不正侵入検知	必須	有り
65		ネットワーク監視	選択	監視対象外 (責任範囲外のインターネット回線のため)
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有り
67		ユーザ認証	必須○	ユーザ: 端末認証。SMS認証、管理者: ID・パスワード認証
68		管理者認証	必須○	有り: 管理者権限運用管理手順
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	有り 認証局が発行するSSLサーバ証明書を取得・使用
70	その他セキュリティ対策	選択	WAFによって顧客データへの攻撃やウィルスまたデータの改ざんなどを検知・防止 IDS・PHS(不正侵入検知・防御)によって不正通信を検知・ブロック SSL暗号化通信によってデータの盗聴やなりすまし、改ざんなどを検知・防止	
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	データセンター建物(クラウドデータセンター)
72		所在地	必須	日本・東日本地域 東南アジア
73		耐震・免震構造	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)※使用) ※株式会社アドテクニカが運営するホスティングサーバ 有り: 免震構造
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	UPS有り
75		給電ルート	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
76		非常用電源	必須	非常用電源有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。



# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
78		火災感知・報知システム	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
80		誘導雷対策	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
81	空調設備	十分な空調設備	選択	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
82	セキュリティ	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有り: 詳細は非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
		個人認証システムの有無		有り
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
		保管管理手順書の有無		非開示(XEO server(ジョサーバ)使用)
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	施設の周辺、建物の周辺、建物の内部、およびデータセンターの各階による破壊侵入防止対策
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	ヘルプデスクサポート 電話: 0120-927-986 / 054-280-1670 メール: info@adtechnica.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	平日10:00~17:00
		メンテナンス実施時間		窓口対応に特別なシステムは使用していないためメンテナンスは発生しない。
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	-
		放棄率の実績値(単位: %)		-
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		-
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		-
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	サービス利用・操作方法、障害等トラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号 : 0239-2004, サービス名称 : 安否コール, 事業者名称 : 株式会社アドテクニカ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	冗長化、負荷分散
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: クラウドサービス及びWEBシステムサービス利用規約
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	1か月前
		告知方法		電子メール、Webサイト(安否コールの管理画面へログインした際、トップページの下部にある「お知らせ」)
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93		定期報告	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。